

UFOロボグレンダイザーシナリオ

## 涙ははるか銀河を超えて

M I L A

漆黒の宇宙に浮かぶ月。

スカルムーン基地のマザーバーン内。

ガンダルの前に立つブラッキー。

ブラッキー…ガンダル指令。この度、銀河系方面作

戦部隊から吉報が入りました。

ガンダル…吉報だと？

ブラッキー…はっ。銀河系で抵抗を続けていたロメ

才星を完全制圧し、ロメ才星王とその娘を生け捕りに

いたしました。

ガンダル…王と娘？ このベガ星連合軍に比べれば、

大した武力も持たぬロメ才星を制圧したところで何

になる？ ブラッキー、目下我々の目指すのは地球侵

略と、それを邪魔するデューク・フリードを倒すこと

を忘れたか。

ブラッキー…忘れてはおりません。しかしながら、

こやつらを利用することは有効な手立てかと。

ガンダル…利用すると。どんな作戦だ、言ってみろ

ブラッキー…は。ロメ才星王を人質に、娘リヤーナをデューク・フリード暗殺のコマンダーに仕立てるのです。デューク・フリードを暗殺した暁には、王は無傷で返し今後いつさいロメ才星には攻撃を仕掛けないという条件を出すのです。

ガンダル…ううむ……

ブラッキー…自分の星と父親の命がかかっているの

です。まさか首を横には振りません。リヤーナを

地球に送り込み、デュークフリードの身近に潜入させ

ヤツがりヤーナを信用しきつた頃に襲わせるのです。

ガンダル…ふふふ。それはいい。期待しておるぞ、

ブラッキー

ブラッキー…はっ！

タイトル『涙ははるか銀河を超えて』

扉が開き、ベガ兵に連行されるリヤーナ王女。

ベガ兵…ロメ才星のリヤーナ王女を連行しました

ガンダル…来たか、リヤーナ王女

ベガ兵、リヤーナを跪かせる。

ガンダル…作戦はブラッキーから聞いたな？ リヤ

ーナ。

リヤーナ………

ガンダル…聞こえんな。返事はどうした  
 リヤーナ…わ、私にはできません。地球へ行って、  
 デューク・フリードを  
 殺すなんて。デューク・フリードはフリード星の王  
 子。あの守護神、グレンダイザーを自由に操るような  
 人に、私など……

巨大スクリーンに浮かび上がるベガ大王。

ベガ大王…リヤーナ！

リヤーナ、はつとして顔を上げる。

ベガ大王…おまえの父、ロメオ星王の命と、ロメオ  
 星の運命がかかっていることを忘れるな。

リヤーナ…そ、それは。本当なのですね？ 私が  
 デューク・フリードを抹殺すれば父も、私の星も自由  
 にしてくださると

ベガ大王…うむ、約束しよう。もともと、我らより  
 科学力の劣ったロメオ星など、必要のないものだから

な。ブラッキー！ リヤーナにあれを渡せ

ブラッキー…はつ。これを身につけている。

ネットワークを渡す。

ブラッキー…超小型通信機だ。そして裏のスイッチ  
 を入れると爆発するようになってる

リヤーナ…爆発。自爆しろと？

ガンダル…リヤーナよ。生きて帰るかどうかは貴様

の腕次第。デューク・フリードを信用させ、近づけば  
 近づくほどおまえの勝算は高くなるという言葉もの

リヤーナ、うつむき、決心したように顔を上げる。

リヤーナ…わかりました。でも、地球に行く前にひ  
 と目父に合わせて下さい

ガンダル…よかろう。ブラッキー、王のところへ連  
 れて行ってやれ

ガンダルの顔を割り、レディガンダルが出現

レディガンダル…ガンダル指令。貴様も女には甘い  
 な。父に合わせることなどない。さつさと地球へ送  
 り込むのじゃ

ガンダル…ええい、うるさい女だ。ブラッキー、さつ  
 さと会わせて地球へ送り込め

マザーバーン内。大型カプセルにロメオ星王。ベガ  
 兵がスイッチを押すと

スクリーンが現れ王が映し出される。

リヤーナ…お父様！

王…おお、リヤーナ。無事だったか

リヤーナ…はい、リヤーナは大丈夫です。お父様は？

王…私も心配はいらん

リヤーナ、スクリーンにしがみつき泣き出す

リヤーナ…ううう

王…リヤーナ、どうした？ なにがあつたのだ

リヤーナ.. お父様。私はこれから地球へ行つて任務を果たして参ります

王.. 任務? なんだそれは

リヤーナ.. (.....)

王.. リヤーナ、答えなさい。

リヤーナ.. 地球にいる、デュークフリードを暗殺するのです

王.. なんだと? デューク・フリードと言えば、フリード星の王子。地球で生きておられるのか

リヤーナ.. デューク・フリードの命と引き換えに、お父様とロメオ星の安全を保障すると

王.. ばかな。信じてはいけない。あのベガ大王がそんな約束を守るはずがない。リヤーナ、聞くのだ。デューク・フリード王子は聡明で強靱な精神の持ち主と聞く。そんな人を殺してはならない。いずれ彼のような者が、ベガ星連合軍を打ち倒してくれるに違いない。第一、私はおまえに暗殺などと言う恐ろしいことをして欲しくはないのだ。私はどうなつてもいい。おまえだけでも逃げなさい

リヤーナ.. お父様、そんな。私だけ逃げるなんてできません。

ブラッキー.. いつまで話をしていなのだ。コマンダー・リヤーナ、時間だ。円盤に乗り込め

王.. リヤーナ、行つてはいけない! (スクリーンが消える)

リヤーナ.. お父様。私だつて怖いのです。でも、こうなつた今私たちが生き残る手段はこれしか.....

シラカバ牧場。望遠鏡で空を見ている団兵衛。

ひかると大介は馬にブラッシングしている。

ひかる.. 昨日までの雨がウソみたいね

大介.. うん。ひかるさん、これが終わつたら思い切り走らせよう

ひかる.. ええ。(馬に) 気持ちいいでしょう?

大介.. よしよし、いい子だ

ひかる.. 大介さんで本当に馬が好きなのね

大介.. 動物はいい。動物の目を見てるとなんだか優しい気持ちにならない

かい?

ひかる、大介の横顔を見つめる。通りかかる吾郎、ふ

たりに気づく

吾郎.. お姉ちゃん、大介さんの顔ばかり見て手が

止まつてるよ

ひかる、まっかになる

ひかる.. な、なに言つてるのよ!

吾郎.. あはつ、赤くなつてらあ

ひかる.. 吾郎!

大介、何かを感じ取りはつとする。辺りを見回し、意識を集中する

リヤーナ…(きやああああ)

大介.. 悲鳴だ

ひかる.. 吾郎.. え？

大介.. 今確かに悲鳴が聞こえた

ひかる.. ええ？ 私にはなんにも

リヤーナ.. (きやああああ)

激しく流れる川の音。

大介.. 川だ！ 誰かが溺れている

走り出す大介。デュークバギーに飛び乗り、急発進する

る

ひかる.. (やつぱり大介さんは、私たちには聞こえないような音まで聞き取る能力があるんだわ)

大介、川沿いを走る。坂を上り高台から見下ろす

大介.. あつ、あそこだ

もがきながら下流へと流されるリヤーナ。大介飛び込む

込む

大介.. たー！

流されるリヤーナに追いつき手首を掴む。

大介.. 君、しっかりするんだ。

リヤーナ.. た、助けて……

大介.. 僕に掴まって！

大介、リヤーナを抱きかかえ岩場まで泳ぎ、リヤーナを岩の上に横たえる

リヤーナ.. (激しく咳き込む)

大介.. 大丈夫かい？

リヤーナ.. こ、ここは……？ (見上げた景色が回り

気を失う)

大介.. 君！ 君！

腕の中のリヤーナ。大介、抱え上げる

研究所、医務室。リヤーナ目を覚ます。甲児とマリア

が付き添っている

マリア.. 気が付いた？

リヤーナ.. ここは？

起き上がるリヤーナの美しさに息を飲む甲児。

マリア.. 宇宙科学研究所よ。あなたは川で溺れてい

て、私の兄さんに

助けられたの

リヤーナ.. お兄さん……？

マリア.. そう。甲児、兄さんと呼んできて

甲児、リヤーナに見とれている。思い切り肘で突くマ

リア

甲児.. いつてあな、マリアちゃん。なにするんだよ！

マリア.. もう、甲児ったら。兄さんと呼んできてっ

て言ってるじゃない！

甲児.. あー、いてえ。はいはい、大介さんね（甲児出ていく）

マリア.. 私はマリア。あなたは？

リヤーナ.. 私は、リヤーナ

マリア、リヤーナのネックレスに気づく。じつと見つめる。

リヤーナ視線に気づき、思わずネックレスを手で隠すマリア..（なんだろう、この嫌な予感。なにかよくないことが起きる気がするわ）

ドアがノックされる。大介と甲児、ひかるが入ってくる。

大介.. やあ、気分はどうだい？

リヤーナ.. あなたが私を助けてくれたの？

マリア.. 私の兄さんよ。あと、甲児とひかるさん。

みんなここで一緒に働く仲間なのひかる.. よろしくね

リヤーナ、うなづく。一同を見回し、大介を見つめる。

大介.. 無事でよかった。一昨日からの大雨で川が増水していたんだ。しかし、なんであんなところに？

リヤーナ.. どうしてって..... どうして私は.....

私.....

顔を見合わせる一同。リヤーナは頭を抱える。

リヤーナ.. 自分の名前以外..... 思い出せない.....

大介.. 記憶喪失？ マリア、お父さんに連絡してすぐに彼女を検査してもらおうんだ

マリア.. わかったわ

ひかる.. マリアさん、私も行くわ

リヤーナ.. 怖いわ.....

大介.. 大丈夫だよ、安心したまえ。ここは最新医療設備が整っているんだ。

リヤーナ、うつむきながらそつと胸のネックレスを握る。

リヤーナ..（早くデューク・フリードを見つけなければ）

研究所、診察室。リヤーナは検査着姿で椅子に座っている。ノックの音。

宇門博士が入ってくる。リヤーナ、緊張した表情。

大介.. 心配ない、僕の父だ

リヤーナ.. お父様.....？

ロメオ星王が浮かぶ。

宇門.. ああ、楽にして下さい。私はこの研究所の所長で、宇門と言います。

大介.. お父さん。彼女の状態は？

宇門.. うむ、診察した医師によると一時的なもので回復は早いだろうと言うことだったんだが..... リヤーナと言ったね？ まったく思い出せないかね？

リヤーナ.. はい、すみません。みなさんに迷惑をかけてしまつて

宇門.. いや、そんなことは気にしなくていい。よかつたらしばらくここにいなさい。そのうちに思い出せるかも知れん。

リヤーナ.. ありがとうございます。

大介.. うん、ゆつくり体を休めるといい。マリア、リヤーナの部屋の用意をしてやつてくれないか。それから着替えも何か貸してやつてくれ

マリア.. はい

診察室を出るマリア。一瞬振り返る。甲児が心配そうにリヤーナのそばに立っている。

マリア.. (……)

夜。宇門邸。ベッドのリヤーナ、目を覚ましそつと起き上がる。辺りを見

回し部屋を出る。外に出るリヤーナ。振り返ると研究所が闇に浮かび上がっている。

リヤーナ.. ブラッキー隊長、こちらリヤーナ

ブラッキー.. おお、リヤーナ。連絡を待っていたぞ。うまく潜入できたようだな。

リヤーナ.. はい。でも、デューク・フリードがまだ

特定できません。

ブラッキー.. 地球人に紛れ込んでいるのだ。まあ、よい。こちらから攻撃をかけてデューク・フリードを誘い出してやる。

リヤーナ.. ブラッキー隊長、私の父は……

ブラッキー.. 今はデュークフリードを抹殺することだけを考えておけ

リヤーナ、悲しげに夜空を見上げる。満天の星。

リヤーナ.. やらなくては……でも、一体デューク・フリードはどんな人なの？

大介.. そこにいるのはリヤーナかい？

リヤーナ、はつとして振り返る。

リヤーナ.. 大介さん

大介.. どうしたんだ、こんな夜中に

リヤーナ.. 眠れなくて……あんまり星がきれいだから見ていたんです。

大介さんは？

大介.. うん、僕も眠れなくてね。こんなに月が赤いやな色だ

リヤーナ.. 月が？

大介.. ああ、今我々は大きな敵と戦っているんだ。そしてその敵はこんな赤い月をした日にやつてくる

リヤーナ、大介を見つめる。

リヤーナ…（もしかしたら、この人がデュークフリード？）

大介、視線に気づく。

大介…ああ、ごめんよ。怖がらせるつもりじゃなかったんだ。さあ、中に入ろう。夜風は体によくはない。そうだ、リヤーナ。よかったら明日の朝牧場に来ないか？ きれいな空気と緑の草木に囲まれてリラックスすれば、少しづつ体もよくなっていくよ

リヤーナ…ええ

翌朝。シラカバ牧場。団兵衛は相変わらず望遠鏡を見ている。

団兵衛… UFOちゃんよ。今日も待つとるのにこんのかのお。

望遠鏡で下を見ると、デュークバギーに乗る美女を発見。

団兵衛… やややつ！ 大介の分際でなんであんな美女と肩を並べておるのだ？ こらー、大介！ 朝っぱらからそんな美人を連れてなにやつとるんだ、おまえは

大介… おはようございます、おじさん

ひかる、外に飛び出してくる。

大介… さあ、着いたよ

大介、リヤーナの手を取りバギーから降ろす。表情が

曇るひかる。

大介… 朝は動物の世話をしなくちゃならないんだ、ちよつと待っててくれ

ひかる… 大介さん、リヤーナさん。おはよう

大介… おはよう、ひかるさん。この白馬が僕の馬だ。あとで乗ってみるかい？

ひかる…（大介さんの一番かわいがつてる馬にリヤーナさんを……）

リヤーナ、おそろおそろ手を伸ばし白馬をなでる。おとなしく触らせている白馬。

リヤーナ… かわいい……

大介、リヤーナを見て微笑む。

草原。白馬に乗ったリヤーナ。大介が手綱を持って引いている

大介… 怖くないだろう？

リヤーナが頷く。そこに重なるナイーダの面影。大介、はつとする。

大介…（少しだけ雰囲気似ているんだ）

リヤーナが微笑む。胸のネックレスが輝いている。

森の木陰。川面に映る大介とリヤーナ。

リヤーナ… きれいな所。

大介… うん。川のせせらぎと小鳥のさえずり。こん

なに美しい景色が身近にあるだけで僕は幸せだと思  
う。リヤーナ、君はどこから来たんだ？ この先の湖  
を見てなにか思い出さないか？

リヤーナ首を振る。

リヤーナ.. 大介さん。あなたがゆうべ言っていた大  
きな敵ってなんのこと？

大介.. この地球を狙っている凶悪な異星人さ。しか  
し、この地球にはやつらの侵略を阻む者たちがいる。  
そしてその存在も特定されてしまったから、この辺一  
帯も標的になってしまったんだ。

リヤーナ.. 阻止しているのは大介さんたちね？ マ  
リアさんは、まだ子供なのに一緒に戦っているの？

大介.. マリアはね、小さいころからお転婆で負けん  
気は僕よりも強い。

でも、そうは言っても女の子だからね、早くこ  
の戦いを終わらせたい。僕はこの地球の緑を愛して  
いる。失ってはいけない、宇宙の財産だ。

リヤーナ.. (……)

牧場に甲児のジープ。ひかる、手持ちぶさたで腰掛け  
ている。

甲児.. おはよう、ひかるさん

ひかる.. おはよう

甲児.. 大介さんは？

ひかる、つまらなそうに山の方を指差す

ひかる.. リヤーナさんとお散歩ですって！ 朝ごは  
んもまだなのに馬に乗って来るって

甲児.. はーん、それでそんな不機嫌なんだな

ひかる.. な、なに言ってるのよ！ そんなんじゃない  
いわ

甲児.. それにしたって、どこまで行ってるんだ大介さ  
んは。マリアちゃんに頼まれて町に行くからリヤ  
ーナも連れて行こうと思ってたんだ

ひかる.. どうして？

甲児.. 大きな町に出れば、彼女もなにか思い出すか  
も知れないだろう？

ひかる.. (なによ、みんなしてリヤーナさんばっか  
り)

大介たちが乗った馬が戻ってくる。

大介.. 甲児君、来てたのか

甲児.. ああ、リヤーナを誘いにね

リヤーナ.. 私を？

甲児.. マリアちゃんと3人で町に行ってみないか？  
リヤーナ、困ったように大介を見る

大介.. 気分がよければ行ってくるよ。それに  
してもマリアのやつ甲児君を運転手代わりにして  
るな？



団兵衛… UFOだーっ！ UFOが来たぞーっ！

大介と甲児、上空を見る。ミニフォーがはるか山の向こうから飛来してくる

大介…来たな、ベガ星連合軍  
リヤーナ…ベガ星連合軍……

甲児…ちっ、出かける暇もありやしねえ。大介さん、俺は先に行くぜ。

納屋に走りこむ甲児。TFOがたちまち飛び立つ。

大介…ひかるさん、リヤーナを頼む

リヤーナ…大介さん……！

大介…大丈夫だ。さあ、ひかるさんと一緒に避難するんだ

大介、デュークバギーに乗り研究所へ向かう。通路を走る大介。避難口に飛び込む。

大介…デュークフリード

変身。スペイザーに乗り込む。

デューク…グレンダイザーGO！

研究所を飛び出すグレンダイザー。すでにTFOが応戦している。

デューク…ん？ 円盤獣がいないな

甲児…あんたが出るまでもなかったな。雑魚ばっか

りだぜ

ミニフォー、かく乱するように飛び交う。ミサイルで応戦する甲児。

スペイザー内のデューク。マリアから通信が入る。

マリア…(兄さん、私も出動するわ)

デューク…待てマリア。どうも様子がおかしい。

マリア…(どういうこと?)

デューク…円盤獣がいない。まるで我々をおびき出すためにミニフォーを送り出したみたいだ

ブラッキー…ミニフォー部隊、そろそろいいだろう  
引き上げる

ミニフォー一斉に帰還していく

甲児…あ、待てこのやろう！

デューク…甲児君、我々も戻ろう。なにか変だ

シラカバ牧場。物陰から空を見るリヤーナ

リヤーナ…やつぱり大介さんがデューク・フリード  
だったんだわ

真上を横切るグレンダイザー

リヤーナ…あれがフリード星の守護神。

大介の笑顔がよぎる。

リヤーナ…デューク・フリード

ブラッキー…リヤーナ

胸のネックレスが光る。リヤーナ、左右を見回し応答

する

リヤーナ..は、はい。こちらリヤーナ

ブラッキー..今グレンダイザーをおびき出した。  
デュークフリードの特定は出来たか

リヤーナ..はい

ブラッキー..よろしい。期待しているぞリヤーナ

夜。研究所内、大介の個室。マリア、ドアをノックする

マリア..兄さん

大介..どうしたマリア

マリア..あのね、兄さん。リヤーナなんだけど

大介..どうかしたのか

マリア..なんか嫌な予感があるの。初めてリヤーナ  
を見たときに感じたんだけど

大介..おまえの予知能力か？

マリア..わからない。だけどリヤーナがベガ星の  
パイとは思えない。

でも、なにか隠してるわ。なんだろう、あの  
ネットワークが焼きついて離れないの。

大介..そうか。パイとは思いたくないが注意して  
おこう

マリア..ねえ、兄さん

大介..ん？

マリア..(……)

大介..なんだ？ どうしたんだよ

マリア..兄さんはリヤーナのこと、どう思ってるの？  
大介..どういう意味だ

マリア..男の人はああいう女の人が好きなのかなあ  
って

大介..なにを言ってるんだ？

マリア..……なんでもない！ おやすみなさい

大介..変なやつだな

研究所。リヤーナ、デッキに立っている。湖面に月が  
映り、きらきらと輝く。見つめているリヤーナのネッ  
クレスが光る。

ブラッキー..(声)リヤーナ、どうだ。まだ実行に移  
せないのか

リヤーナ..はい。

ブラッキー..なにをもたもたしている。グレンダイ  
ザーに乗り込む前のデュー・フリードであれば恐れる  
ことはない。

リヤーナ..わかっています、でも……

ブラッキー..いいか、貴様はベガ星のコマンダーであ  
ることを忘れるな。父親の命は、貴様の行動にかかっ  
ているのだ。

甲児..リヤーナじゃないか

リヤーナ、はつとして振り向く

リヤーナ… 甲児さん

甲児… なにしてるんだ？ こんなところで

リヤーナ… 眠れないんです

甲児… リヤーナ、無理に思い出そうとしなくていい。この研究所にいる仲間みんな最高にいい人ばかりだからよ、自然に記憶が戻るまでここにいたらいいよ

リヤーナ… ありがとう。でも……

甲児… 笑わないでくれよ。さつき、空を見上げてるあんたを見てたら、なんだかオレはあんたが「かぐや姫」に思えて来たんだ

リヤーナ… かぐや姫？

甲児… 知らないのか？ 月のお姫さままで地上に降りて暮らすんだけど、そのうちに月からの使者に連れられて天に帰って行く、日本の古い民話さ。あんたみたいなきれいな人、なんかこの世界の人間に思えなくてよ。あははは。

リヤーナ… 甲児さん、私……

甲児… どうかしたか？

リヤーナ… い、いいえ

甲児… もし、本当にあんたが異星人でもオレは驚かないぜ。たとえ生まれた星が違って、心から信頼し

あえるってことをオレは知ってるからな

リヤーナ、泣き出す。

甲児… お、おい。なに泣いてんだよ、どうしちゃったんだよ。誰かに見られたらオレが泣かせたみたいじゃないか。泣き止んでくれよ。

研究所、観測室。林が手元のパネルに気づく

林… ん？ なんだこの電波は？

山田… 林君、どうかしたか？

林… 研究所のどこかから、この研究所とは違う波長の微弱電波が出ているんだ。所長に知らせるか。

山田… わかった。所長、夜分にすみません。所内で不審な電波をキャッチしました。発信源を調べます。

宇門… わかった。私と大介も向かうよ

再びデッキ。月明かりに甲児とリヤーナの影が浮かぶ。

リヤーナ… 甲児さん。私、帰ります。

甲児… 帰るって、どこへ？ 思い出したのか？

リヤーナ… ええ、私の帰るべきところへ

甲児… それは一体？

駆けつける大介と宇門。

甲児… 大介さん、博士！ 一体どうしたんです？

大介… リヤーナ、不審な電波の発信源は君だったのか

甲児.. なんのことだ? リヤーナ、一体……:  
 リヤーナ.. 大介さん、いいえ。デューク・フリード。  
 私はロメオ星の王女リヤーナです。私の星はベガ星  
 に制圧され、私と父は彼らの捕虜となりました。

甲児.. なんだって?!

リヤーナ.. 私はガンダルの命を受け、星の自由と父  
 の命を引き換えに、あなたを抹殺しに来たのです。マ  
 ザーバーンを出る時に、父は私にこう言いました。暗  
 殺などと恐ろしいことをして欲しくない、いずれあな  
 たのような方が必ずベガ星連合軍を倒して下さると  
 大介.. リヤーナ。僕とマリアも帰る星を失った。今  
 はこの地球が故郷だと思っている。だから、君の気持  
 ちは痛いほどわかる。ベガ星連合軍は地球にとつて  
 もフリード星にとつても、そして君にとつても敵だ。  
 リヤーナ.. 私には初めからできないとわかっていま  
 した

甲児.. だつたらなぜ近づいたんだ?!

リヤーナ.. ほんの数日でも父に生き延びて欲しかつ  
 た。そして、デューク・フリード王子にひと目お会い  
 したかったのかも知れませんが。地球の人たちは優し  
 いことを知りました。そしてこの星の美しさも……:  
 デューク、どうかあなたの力でベガ星連合軍を。お聞  
 きになりましたか、ブラッキー隊長! 私には任務を

遂行することができませんでした。あなたたちの言  
 いなりになるよりも、私は誇り高く死ぬことを選びま  
 す

ネックレスが光る

ブラッキー.. 貴様……:ロメオ星王がどうなつても良  
 いと言うのか?

リヤーナ.. 父も同じ道を選ぶでしょう。たとえベガ  
 星に蹂躪され、帰ることが出来なくてもロメオ星は私  
 の故郷です。

リヤーナ、ネックレスを引きちぎる。

リヤーナ.. さようなら、デューク、甲児さん

マリア.. (声) 兄さん、ネックレスを取つて! 自爆  
 するつもりよ

大介.. リヤーナ!

リヤーナ.. あつ!!!

大介が手首を掴み、ネックレスを奪う。投げ捨てる  
 と、下方で小規模の爆発が起きる

倒れるリヤーナを甲児が抱きかかえる。マリア、走り  
 寄る。

リヤーナ.. マリア、どうして……?!

マリア.. 私には予知能力があるの。初めてあなたに  
 会ったとき、すぐくあのネックレスが引つかかっていたのよ

リヤーナ.. 死なせて.....もう父は助けられない。このまま私だけが生き残ってどうしろと言うの？

マリア、リヤーナの頬を張る

マリア.. あなた王女でしよう？ 生きて自分の星を取り返そうとは思わないの？！ お父様を助け出そう

とは思わないの？

リヤーナ.. マ、マリア

マリア.. 私たちがなぜ戦っているかわかる？ 地球のために戦うと言うことは、この宇宙のために戦うことと同じだわ。怖くないと思う？ 悲しくないとと思う？

それでも私は泣かないって決めたの！ フリード星をいつか取り戻すまで、私は泣かないって決めたの！

リヤーナ.. マリア.....

マザーバーン。ブラッキー、拳をスクリーン前のパネルに叩きつける

ブラッキー.. おのれ、小娘が.....円盤獣を送り込め！裏切り者がどうなるか見せ付けてやるのだ

ベガ兵.. はっ

スクリーンにガンダルが映る。

ガンダル.. 待て、ブラッキー。その円盤獣に王を乗り込ませろ。人質がいればデューク・フリードもすぐには倒せない。

ブラッキー、不敵に笑う

ブラッキー.. なるほど、それはいい。デュークフリードの小ざかしい正義感が仇となるわけですね  
マザーバーンから飛び出す円盤獣。地球めがけて飛行してくる

研究所、観測室。

佐伯.. 所長、物凄いスピードで円盤獣が向かっています。到達まで5分です

宇門.. 大介、甲児君、マリア君。出動してください

大介、甲児、マリア.. はい！

それぞれ走り去る。

宇門.. 林君、ひかる君にも出動命令を出してください。さあ、リヤーナ。中に入りなさい。ここでは危険だ。

デューク.. グレンダイザーGO！

グレンダイザー、カタパルトから飛び出す。

甲児.. 行くぜ、マリアちゃん、ひかるさん

マリア、ひかる.. OK！

甲児.. ダブルスペイザー

マリア.. ドリルスペイザー

ひかる.. マリンスペイザー

甲児、マリア、ひかる.. GO！

星空にグレンダイザーの機体が輝く。大きな月を背景に対峙する円盤獣とダイザー。

デューク.. 来たな、円盤獣。スピンスーサー！

スピンソーサー、円盤獣の体に当たる。一瞬、のけぞる円盤獣。変形する。

円盤から伸びる首、手、足。背面に翼。

甲児..ダブルカッター！

カッターが飛び、翼を直撃。跳ね返される。

甲児..くそっ！ カッターが効かない

ひかる..マリンスマイル！

マリア..ドリルミサイクル！

ミサイクルが当たるが、手足を引っ込め円盤で跳ね返すひかる..なんて固いの！

ドリルスペイザー、円盤獣に近づきミサイクルを撃ち込む。手の穴に命中。再び変形するが片腕は損傷している

マリア..兄さん、至近距離なら効き目はあるわ！

デューク..マリア！ あまり近づくな！

円盤獣、目からビーム発射。ドリルスペイザーに当たる

マリア..きやーっ

ドリルスペイザー、地面に叩きつけられるように着陸

デューク..マリア！

甲児..マリアちゃん！

マリア..(声) 私は大丈夫！

デューク..おのれ、円盤獣！ スペース……

ブラッキー..(声) 待て、デューク・フリード。その円盤獣ガスザスにはリヤーナの父親が乗っているのだ

リヤーナ、衝撃に目を見開く

リヤーナ..お父様が！

ブラッキー..ベガトロンで催眠状態にあるがな。

さあ、デューク・フリード。王の乗ったガスザスを倒せるかな？

デューク、操縦桿を握りしめる

デューク..卑怯だぞ！ ブラッキー！

ブラッキー、巨大スクリーンの前に勝ち誇ったように座っている

ブラッキー..なんとでも言え。いいか、デューク・フリード。戦いとはな、勝てばいいのだ。わははは。

スペイザー内、デューク

デューク..くそ……

甲児..なんて、なんて卑怯な真似を！

ブラッキー..どうだ、デューク・フリード。手も足も出まい。ガスザス！ グレンダイザーを血祭りに上げろ！

円盤獣、口から熱線を吐く。グレンダイザーを直撃

デューク..うわあっ

研究所、観測室。見上げる職員一同。

宇宙…大介！

リヤーナ、観測室を飛び出す

宇宙門…リヤーナ！ どこへ行く、待ちたまえ

リヤーナ…父を助けに。おじさま、ありがとうございます

走り去る

宇宙門…リヤーナ

再びスクリーンを見上げる。苦戦するデューク・フリード。

デューク…シュートイン

操縦席が移動

デューク…ダイザークGO

ダイザーク、地上へ降りる。円盤獣、両足でダイザークの肩を押さえ込み、目からビーム

コックピット内、デューク

デューク…うわあ！ このままでは危ない

スイッチを入れる手

デューク…シオルダーブーメラン

ブーメラン、垂直に飛び、円盤獣の両翼を付根から切り落とす。地上に落ちる円盤獣

リヤーナ、甲児のジープで森へ向かう。森の中ほど。小型のUFOが隠すように停めてある。飛び乗るリヤーナ。森の中から垂直に飛び立つUFO。

マリンスペイザー、ダブルスペイザーが応戦。

デューク…ひかるさん、甲児君。王がどこにいるかわからない、直撃は避けてくれ

ひかる…だけど、このままじゃ大介さんが

マリア…兄さん、待つて。ドリルオン！

ドリルスペイザー、地中に潜り、掘り進む。操縦席のスクリーンに光が点滅、赤くなる。

マリア…ここね

円盤獣を突き上げるように出現するドリルスペイザー。円盤獣、バランスを崩し仰向けに倒れる。すでに片腕、両翼がない状態。

デューク・フリード…メルトシャワー！

上空を旋回するスペイザーからメルトシャワー。円盤獣の顔面を狙う。

目がつぶれ、ビームが発射されない。

デューク…王はどこにいる？ なんとか王を円盤獣から出せれば

デューク・フリード、テレパシーで内部を見る。円盤

獣の背面、ヒトで言う骨盤辺りに操縦席。デューク…そこか！ みんな聞いてくれ。王は円盤獣の背中側にいる。俺がハーケンでヤツの腹部を切り裂いてみる。ダブルハーケン！

ハーケン飛び出し、頭上で接合。

リヤーナ.. お父様!!

ダイザーのすぐ前を、横切るリヤーナ機

デューク.. リヤーナ! 危ない、離れろ

リヤーナ.. お父様! 目を覚まして! この人たちと戦つてはいけません。

デューク・フリードお願い、父を殺さないで。

デューク.. 殺しはしない、君のお父さんを円盤獣から切り離すんだ。

円盤獣、仰向けのまま口から熱線発射。リヤーナ機の後方を直撃。

リヤーナ.. ぎゃああああつ

甲児.. リヤーナ!!

黒煙をあげて、墜落するリヤーナ機。

甲児.. リヤーナ!!

ダブルスパイザーで追いかける。マリンスパイザー、リヤーナ機を追う

ひかる.. アンカーシュート!

アンカーチェーンが伸びる。リヤーナ機の尾翼を挟み、かろうじて墜落を阻止する

ブラッキー.. うるさい小娘だ。ガスガス、裏切り者を始末しろ

円盤獣、転がるように起き上がり再び熱線を吐く

リヤーナ機、マリンスパイザーが熱線に包まれアンカーシュートが切れる。落ちていくリヤーナ機

ひかる.. ああつ! リヤーナ

デューク.. 実の親子をこんな形で利用するとは... 許せん! ダブルハーケン!

円盤獣の首を切り落とす。

ブラッキー.. ガスガス、こうなればグレンダイザーに組み付き、自爆しろ! 道連れにするんだ

円盤獣、グレンめがけて突進。片腕だけでグレンの頭部を掴む

コックピット内、デューク・フリード。

デューク.. なにを...?

コックピットから発光する円盤獣が見える

デューク.. 自爆する気か! ロメオ星王! あなた

の誇りを思い出してくれ!

僕は、あなたを倒したくはない!

マリア.. 兄さん!! 離れて!!

ロメオ星王.. (声) デューク・フリード... いつか、

必ずベガ星連合軍を...

デューク.. 王!!

ロメオ星王.. (声) 私を楽にして... くれなにか?

発光する円盤獣、発光色が変わる

ブラッキー.. 死ぬ! デューク・フリード



デューク、アップ。涙が流れる

デューク…許してください……反重力ストーム！

反重力ストームによつて円盤獣が引き離される。爆発。

デューク、バイザーを上げる

デューク…あなたたちを、救いたかった

ブラッキー…おのれ、デューク・フリード。あと一歩と言ふところで。ひとまずスカルムーンへ帰還するぞ！

草原。煙を上げるリヤーナ機。甲児がコックピットのリヤーナに近づく。頬にかかる髪を整える。デュークたちは離れて見守っている。

甲児…リヤーナ、助けてやれなくてごめんよ。オレ、あんなのこと……

甲児、涙を拭つて立ち上がる

甲児…大介さん。頼みがあるんだ。リヤーナを宇宙に帰してやつてくれないか？ 帰りがつてたからさ。

デューク、力強く頷く。

宇宙空間。グレンダイザーが両手にリヤーナ機を持つて飛ぶ。コックピットのリヤーナの手には地球の野の花が添えられている

アンドロメダ星雲が見えて来る。グレンダイザー、

そつと手を離すと機体がゆつくりと離れていく。デューク…君がロメオ星に流れつく頃には、この宇宙に平和が戻るよう俺は戦う。やすらかに眠つてくれ。グレンダイザー、機体をひる返し地球に向けて発進する。

宇宙空間に漂うリヤーナ機、輝きながら消えていく。

### 終わり

ごあいさつに代えて

この度は裕川さまのご好意に甘えて、このような駄作を載せていただきました。自分でも笑つちやうくらのベタな展開(笑)

しかし、70年代アニメを見て育つところ言う感じになつてしまうようです。しかも、なんか設定はミネオくさいしキャラ的にはナイーダ意識しすぎだし。もうちよつとリヤーナに自我を持たせたかったな。

きたたらブラッキーとガンダルに「ふふふ、飛んで火に入る夏の虫だな」とか、「デューク・フリード。こ

「これで貴様も袋のねずみだ」とか日本古来のことわざを  
言わせたかった・・・(笑)

子供の頃から疑問でした。宇宙人なのに、なんでこんな言葉知ってるの？ って(笑)きつと地球(日本)を攻略するために勉強したんだね、うん。

なお、私は趣味で小説サークルを持っておりませんがシナリオと言うのは演劇以外は書いたことがないので、かなりうそ臭い脚本ですがその辺はお目こぼしを・・・。

次はナイーダを主役にして、ベガ星に捕らわれてからデュークに再会するまでを書いてみようかな？ と思います。昨日バイト中に、いろいろ考えちゃった☆いや、ちよつと暇な時間があったので・・・(笑)

「ここはこうしたら？」とか「この表現はこつちの方がいいよ」などご意見がございましたら私のブログなどに書いていただけると今後の参考になります。ブログについては、裕川さまのリンク集にあります  
「Shooof in！」が私のそれでございます。ありがとうございます。